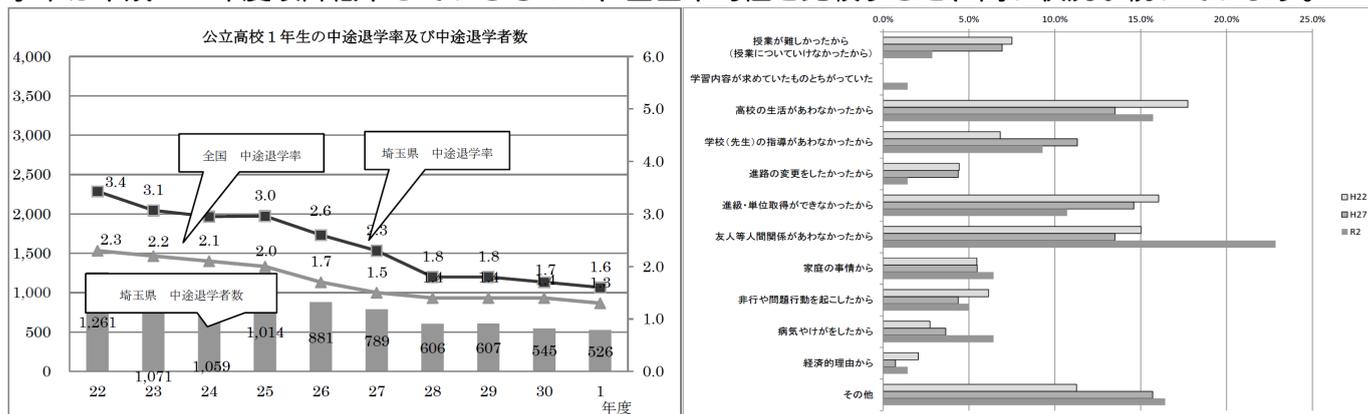


先日は進路説明会へのご参加、第1回進路希望調査へのご協力ありがとうございました。部活動の引退まであとわずかとなり、いよいよ進路選択、受験に向けた準備が本格化します。この「進路だより」でも情報を積極的に発信していきたいと考えています。

キャリア学習・進路指導 いま授業で学んでいることは

修学旅行のまとめ学習を終え、本格的に学ぶ本年度のキャリア学習のスタートは「進学する意味・進学後の進路を考える」ことから始まります。

令和3年3月に埼玉県教育委員会が公表した調査によると、埼玉県では、公立高等学校1年生の中途退学率は平成18年度以降低下しているものの、全国平均値と比較すると、高い状況が続いています。



令和3年3月 埼玉県教育委員会「第5回高等学校中途退学追跡調査結果報告書」より抜粋

授業では高校を中途退学した事例を挙げながら、せっかく入学した高校をなぜやめることにしたのかを議論しながら「なぜ進学するのか、何のために進学するのか」を自分の中で考える機会としました。その中で、保護者の方から寄せいただいた思いも紹介し、生徒も考える視野を広げることができました。ご協力ありがとうございました。その一部を掲載させていただきます。

高校の選び方について

- 校風、通い続けられる距離か、大学進学に向けてどんな取り組みをしているか考えて決めてほしい。
- 偏差値だけでなく、どんな高校なのか、自分の実際によく見て、考えて、納得して選んでほしい。
- 学校の雰囲気をしっかり見て感じて、最後は自分の考えで決断し素直な気持ちを大切にしてほしい。
- 各高校の特徴や、受験高校の選び方など、進路選択の知識を付けてほしい。
- 周りに流されず、自分の行きたい高校を選んでほしい。
- 時間を無駄にせず、高校で何をしたいか目的の一つでも見つけて、色々調べて決めてみるとよい。
- 3年間学ぶのは親でも先生でもなく自分自身であり、義務教育期間の9年間よりも、より濃密な時間を過ごし、友人関係を築く場所なので、自ら積極的に考えてほしい。
- 自分の1年後、2年後を想像し、どんな自分になっていたいか、どんな環境にいたら自分らしく活躍できるかを重視してほしい。
- 周りの方の意見、アドバイスに素直に耳を傾けてながら色々な情報を収集し、後悔しないように真剣に考えてほしい。最後は納得して、自分で決断をしてほしい。
- 高校の先の大学進学などの将来のことも大事だが、15歳~18歳という若いキラキラした世代を楽しめる高校を選んでほしい。

受験をひとつの経験にして

- 人生の最初の選択だと思います。どんな選択でも正解や間違いはありませんが、これから通う高校によって人生が変わってきます。後悔のないよう、自分には無理だと諦めずに最後まで努力して欲しいです。努力はいつか報われます。
- 自分の学力や生活態度、それらを総合した人間性から得られる評価によって自分が試されるのだという社会の「現実」にも目を向け、まずはそれを受け止めた上で、実現に向けて自分が今やるべきことやそのために必要なことに取り組む「努力」をすることが大切だということを学んでほしい。

- どのような結果を得るにせよ、後にこの一年を振り返ってみた時に、自分の進路について、これほど真剣に考え・悩み・努力したことはなかったと思える経験のひとつとなることを望みます。
- それが合っていたのか、間違っていたのか、どちらにせよ、その決断が無駄になることはないと思います。何事も経験として力になっていくので、真剣に自分の進路を考えてほしい。
- どんな基準で選択したのか、何を目的に選択したのかを、明確に伝えられるようにしてほしい。自分の意志を持ち、相手に伝えられることを大切にしてほしい。

自分の将来を見据えて

- 自分の出来る事、身につけたい事を考え自分で決断してほしい。
- 今はまだはっきりと将来への夢や希望が見えていなくても「挑戦したいこと」や「なりたい自分」というものを、一年を通して考え、行動してみる機会にしてほしい。
- 現段階で将来の夢がない、わからないとしても、自分が好きなことや得意なこと、ワクワクすることを大切にしてほしい。自分には無理とか思わないでほしい。
- 自分自身で自分の未来を探してほしい。答えはすぐに出ることもあれば、すぐには出ないこともあるということを知っておく。自分の思う格好良い姿を想像し、そこに近づくための努力を惜しまないことを大切にしてほしい。

生徒の授業のふりかえりより

- その学校に行く目的をはっきりさせ、しっかりとした志望理由を持ち、進学後もその理由で頑張っていけるのか考える。高校は人生でも大事な一つの山場でもあるから、その後の卒業まで考えて、人生を無駄にしないようにしたい。
- 自分がその学校に入学した姿をよく想像することが大切だと思った。よく想像するためには、実際に高校へ行ってみたり、よく調べるようにしたい。
- 学校や塾の先生や、親に全部決めてもらってしまっているので、自分の目で高校を見て、入って後悔しないようにしたい。
- 自分の意思が弱く、なんとなくで行ってしまうと、うまくいかないことがわかった。そのため、学校説明会などに行って、自分が行きたいと思えるところに行くべきだと思った。
- 他人からは見えない、行きたいところ、やりたいことが自分の中にあるかもしれないから、その気持ちを外に出して、まわりの意見と自分の意見を交えて、納得できることが大切だと思う。

通信制高校の オンライン合同進学説明会のご案内

埼玉県・さいたま市教育委員会が後援している、通信制高校の合同オンライン説明会です。

日時 6月22日(土) 9時～
 参加校 県内の通信制高校・サポート校の7校
 対象 保護者・中学生・教職員
 会場 オンライン開催 (Zoom)
 参加費 無料
 申込方法 ホームページより事前申し込み
 (「まるごと通信制フェスタ」で検索)

- 7校がオンライン登壇し、15分ずつの学校説明会を行います。
- チャットで質問をする時間もあります。
- カメラOFF&音ミュートで気軽に参加できます。
- すべて視聴したあとは「学校見学・資料請求アンケート」に回答して、興味を持った学校に資料請求や学校見学の申込みできます。

彩の国進学フェア 事前予約が6月20日(木)より開始

埼玉県公立高校と埼玉県内外の私立高校・中高一貫校・高専が一堂に会する進学相談会です。

日時 7月20日(土) 21日(日)
 ①9:30～ ②11:15～
 ③13:00～ ④14:45～
 参加校 県内公立111校 私立46校
 県外公立4校 私立68校
 対象 主に中学3年生とその保護者
 会場 さいたまスーパーアリーナ
 参加費 入場無料/事前予約制/分散入場
 申込方法 ホームページより事前申し込み
 (「彩の国進学フェア」で検索)

- 埼玉県内の公立高校・私立高校、県外の高校が数多く参加(ブース出展、資料出展)します。
- 各学校の相談ブースでは、担当者や学校の特色紹介や受験・進路相談を行うことができます。
- 授業の進め方やカリキュラム、部活動、校内イベントなど高校生活について、入試の様子や受験勉強についてなど、知りたい疑問・質問を直接聞くことができます。
- 複数校の情報を集めやすく、志望校選びの参考として役立つイベントです。